

「2025 年度春夏期ドイツ語講座開講！」

満開目前の桜とともに、新年度ドイツ語講座が4月5日（土）に開講いたしました。この日、藤沢商工会館ミナパークは企業や団体の新人研修などに集った、リクルートスーツ姿の若者たちで賑わっていました。湘南日独協会ドイツ語講座も、前年度からの受講生に新たに5名が加わって、とても賑やかなスタートを切りました。

午前10時からの「新・ドイツ語入門」コースには5名の申込みがありました。この日は自己紹介（日本語で）のあと、対面授業を担当される中川純子先生からドイツ語の「発音」についての授業が行われました。

ドイツ語の e や i は、長く延ばすときは唇を横に引いて発音しないとドイツ人には通じません。a、o、u は日本語のア、オ、ウの発音とは別物です。そのほかウムラウトの発音の仕方のコツなど、実践的なお話を伺いました。

先生によれば、文法や読解などはいつでも学習できるが、発音は最初が肝心とのこと。ご著書『ドイツ語発音発話徹底ガイド』と、それを実践するためのウェブサイト「ドイツ語発音の森」にも詳しい説明が載っています。

午前11時40分からは「初級後半 Schritte/Deutschlandlabor」です。これは従来の初級クラスと初級後半クラスを統合したもので、ドイツで出版されている外国人向けドイツ語学習テキスト『Schritte international NEU 3』と、D.W.（ドイツ国営国際放送局）制作の動画教材『Deutschlandlabor』を用いて、初級後半の学習を前年度に引き続き行うものです。初日のこの日は7人の受講生がドイツ語で自己紹介を行い、それを聞いた別の受講生が同じ内容を、一人称を三人称に置き換えて他者紹介するという練習です。ドイツ語を聴くのと話すのとでは大違いです。前の人の話を聴いて理解し、それをもう一度繰り返して今度は自分の話をするというスリリングな体験は、リスニングと発話の力を確実に高めてくれます。

午後1時20分からの「中級 Podcast」は前期に引き続き、D.W.のニュース教材を使った読み上げと聴き取りの訓練です。今日のテーマは「ドナルド・トランプはいかに文化に干渉しているか」です。去る3月14日にアップされたばかりのこの教材は、アメリカの文化界にいま何が起きているかを知る、とても貴重な最新情報です。

これから半期間、各クラスで賑やかな授業が展開されます。ご興味を持たれた皆さん、是非一緒にドイツ語を学びましょう。